

# 文化芸術の創造拠点

賑わいを創出・演出する文化芸術の創造発信拠点の整備  
 箕面を象徴する「人と文化芸術と知を織りなす」ランドマークの創出  
 安全・防災・環境への配慮と長期修繕計画による施設の長寿命化

|      |                |                          |
|------|----------------|--------------------------|
| 建築概要 | 敷地面積: 8,100㎡   | 階数: (新文化ホール) 地下1階、地上4階   |
|      | 建築面積: 約7,310㎡  | (図書館、生涯学習センター) 地下1階、地上6階 |
|      | 延床面積: 約26,823㎡ | 構造: 鉄筋コンクリート造(一部除く)      |
|      | 最高高さ: 30.50m   |                          |

## 新文化ホール 文化芸術都市 箕面の誇れる劇場を実現

- 関西有数の文化芸術都市 箕面として、市民が誇れる箕面ならではの劇場、創造と振興の中核拠点施設として、求心力と発信力のある開かれた施設とするため、空間・設備・運営・維持管理の全てに快適な環境を提供
- 大ホールは箕面大滝をイメージした内装計画で、客席は紅葉カラー。小ホールは「繊維のまち」の歴史性を踏まえ「紡いだ編み目」を表現した内装計画
- 利用者、観客、スタッフ、誰にも親しまれるユニバーサルデザインを徹底し、単純明快な構成が「分かりやすい」「使いやすい」「安全」を実現
- シンプルな空間構成でわかりやすい施設としながら、多様な場所をつくり、それぞれの空間で行われる活動を視覚的に繋げることで賑わいを創出、利用者間の活発な交流を促す空間となるとともに、文化芸術を感じられる機会を演出
- 大ホール、小ホールに加え、共用部等で発表・練習ができる、若手アーティストを育成する施設構成

### 大ホール

- 舞台と客席との一体感を重視し、最大視距離33.5mの臨場感ある客席
- 反射音が客席に万遍なく降りそそぐ理想的な音場、残響時間は1.8秒
- クラシック音楽、吹奏楽等に最適な建築音響性能と、ポップス音楽、演劇、舞踊などに対応した舞台特殊設備
- 明るく居心地の良いホワイエ、ポスター展示やイベント等、様々な交流が生まれる空間を創出

### 小ホール

- 様々なコンテンツの上演に幅広く対応する、シンプルなボックス型形状
- 多くの市民に積極的に活用されるため、舞台・客席の一体感、愛着の持てる意匠などに配慮

## 図書館 多様な人々の多様な使い方に応える「豊潤な知の拠点」

- メインデッキ側に設ける3層連続の吹抜けは、上階に行くに従い大きくなり、段状に配置される書架によりダイナミックな空間を演出
- 吹抜け部のガラスカーテンウォールから自然光を取り入れた、明るく開放的な空間
- 2階エントランスホールに近接して、子どもたちがのびのび過ごせる「にぎやかエリア」を確保しつつ、一般エリアとの境界には、遮音性に配慮したウォール書架を配置するなど明確なゾーニングを行い、様々な利用者の快適性を確保
- 「にぎやかエリア」は明るい色調を用い、それ以外のエリアはモトーンを基調に木の温かみのある空間設計
- エントランスホール、幼児・ティーンズ向けのエリアが配置される2階から、ラーニングcommonsやグループ学習室を配置する3階、1人掛け学習席や閲覧席を多く配置する4階。3階から4階へと静寂のグラデーションを創出

## 生涯学習センター 市民活動を支え、交流を促す学びの新拠点

- 6階屋外運動施設と5階スタジオコア吹抜けを中心とした、自然光を取り込む共用空間を構築
- 吹抜けに階段を設け、上下階の連続性や一体感で垂直方向の回遊性を創出。吹抜けまわりは人々が集う、ゆとりの空間としての設え
- 5階中央部に円形のスタジオコアを配置し、各室へアクセスしやすい平面計画
- スタジオ群と多目的室及び会議室を分けたゾーニングとすることで、機能性と遮音性に優れた空間設計

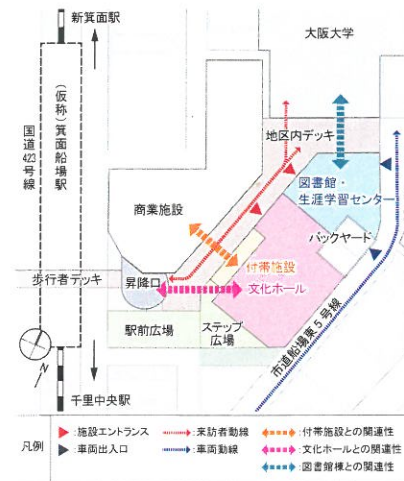
### 地下駐車場

- 新文化ホールの地下に整備
- 自動車116台、自動二輪86台
- 24時間営業

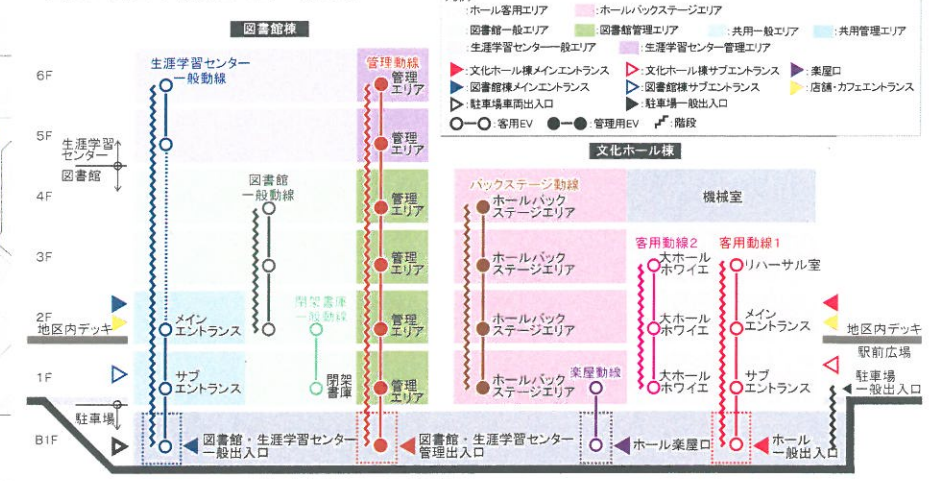
### 付帯施設

- 新文化ホール2階、メインデッキに面した飲食店舗等を誘致
- メインストリートの賑わいと相乗効果を創出

図表1: 機能的な公共施設群の配置



図表2: 安全で利便性の高い縦動線



図表3: 施設と周辺環境との関係性

